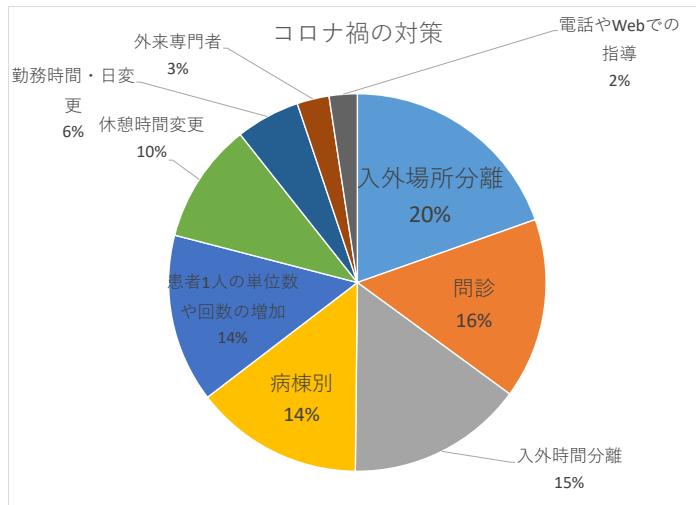


##### 5.コロナ禍の中で対応した内容を教えてください

- スタッフを病棟別にする
- 外来のみ専門担当を置く
- 電話やWebでの指導
- 患者一人の単位数や回数の増加
- 各スタッフの勤務時間や勤務日の変更
- 各スタッフの休憩時間の変更
- 入院リハと外来リハの場所の分離
- 入院リハと外来の時間の分離
- 外來リハビリ開始前の問診
- その他( )

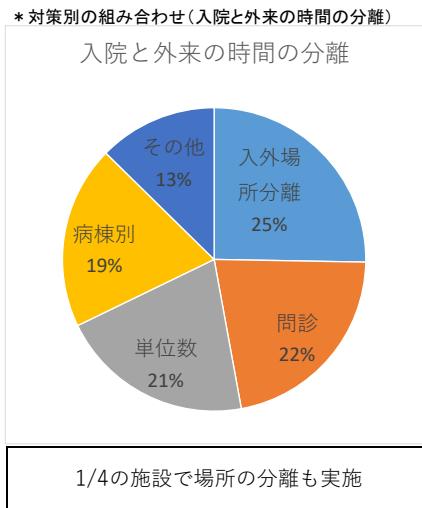
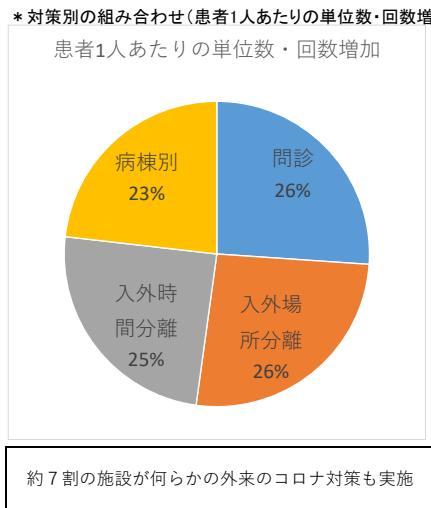
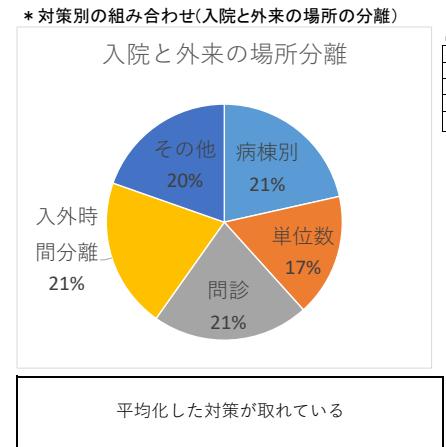
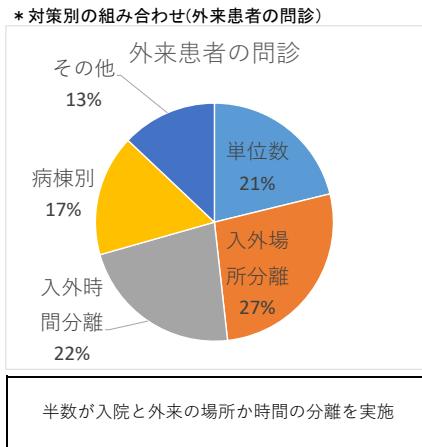
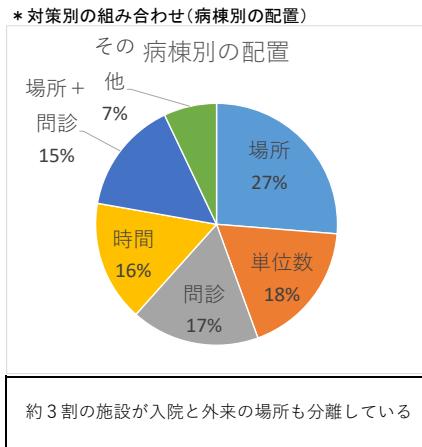


入院リハと外来リハの場所の分離が最も多い

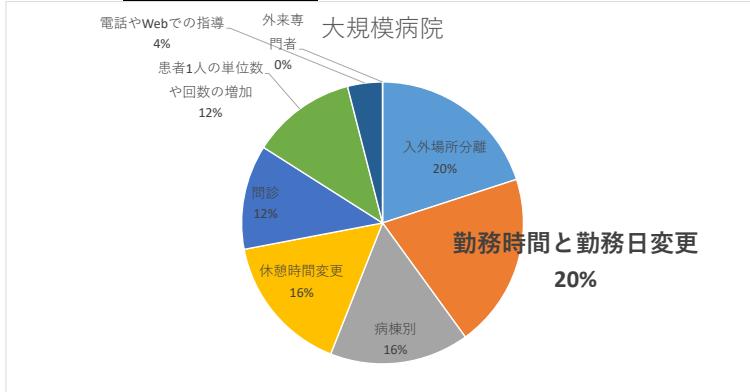
n:291(件数)	
入外場所分	57
問診	45
入外時間分	44
病棟別	42
患者1人の単位	42
休憩時間変更	30
勤務時間・日変更	16
外来専門者	8
電話やWeb	7

##### □その他

- ・新規入院患者は入院後2週間居室にリハ実施。現在はPCR検査の結果が陰性と判明次第リハ室でのリハ実施可
- ・1日2回リハビリ室や使用機器の清掃・消毒の徹底
- ・待合椅子を減らし患者同士のソーシャルディスタンスを確保
- ・同じ病棟内でゾーン分けを行いゾーンが別の患者が交わらないように工夫している。
- ・出棟患者のマスク着用が必須。また、入院患者への面会制限が実施されている。
- ・入院エリアのゾーニングを行い、入院患者同士が接触しないようにした。
- ・職場内外問わず標準予防策を励行。昼食時のソーシャルディスタンス。
- ・一度にリハ室使用する患者数の制限（担当者グループでの使用時間帯の設定）
- ・総合実施計画書、退院時リハ、目標設定等支援管理料の算定率向上
- ・リハビリ総合実施計画書の説明サインをもらえるよう方法検討実施
- ・書類作成でサインの代筆承諾の電話連絡
- ・重心病棟の患者様のリハ室への出入り中止（病棟内リハのみで対応）
- ・全スタッフの体調管理、COVID19のリハビリチームを形成
- ・病院の方針とスタッフの対応を一致させること。ICT指導の強化、対策本部会議への参加
- ・ベットサイドリハビリが原則。リハビリ室は限定期に使用。リハ室での病棟別ゾーニング。来室時の密の回避
- ・必要に応じて個室を用意しての実施。病棟別にリハビリ室使用時間を設定した。
- ・リハ室使用は病棟別で実施。平米と換気機能に応じた入室人数制限。
- ・出入りしている人の検温。検温、健康確認。
- ・入室者の手指消毒必須。患者様の消毒の徹底。
- ・機器の清拭を徹底。」換気。拭き掃除強化。
- ・病院正面玄関での問診対応
- ・会議や研修会のWeb方式への変更
- ・昼食摂取場所（リハ室の開放）
- ・マスクの使用日数管理
- ・年休・時間休の取得など

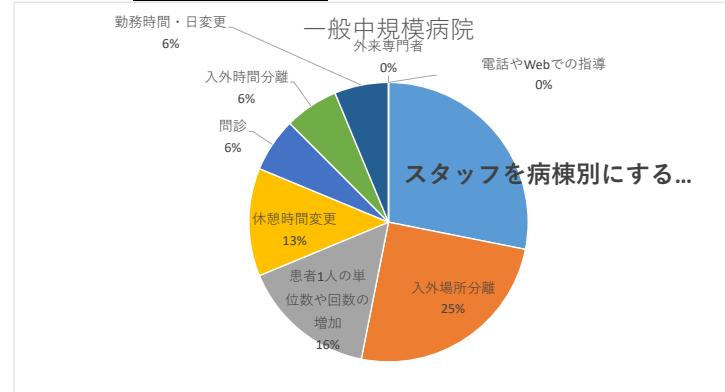


\* 病院区分別(一般大規模病院【12施設】)



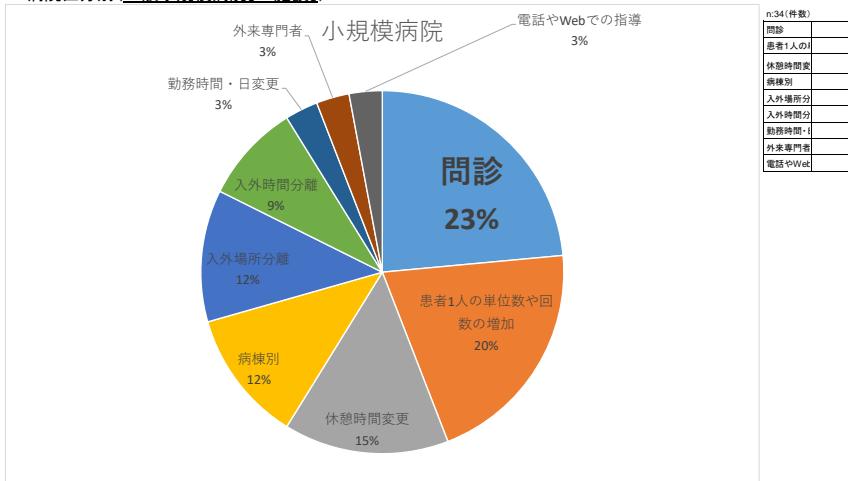
スタッフの勤務時間や勤務日の変更が特徴的

\* 病院区分別(一般中規模病院【22施設】)



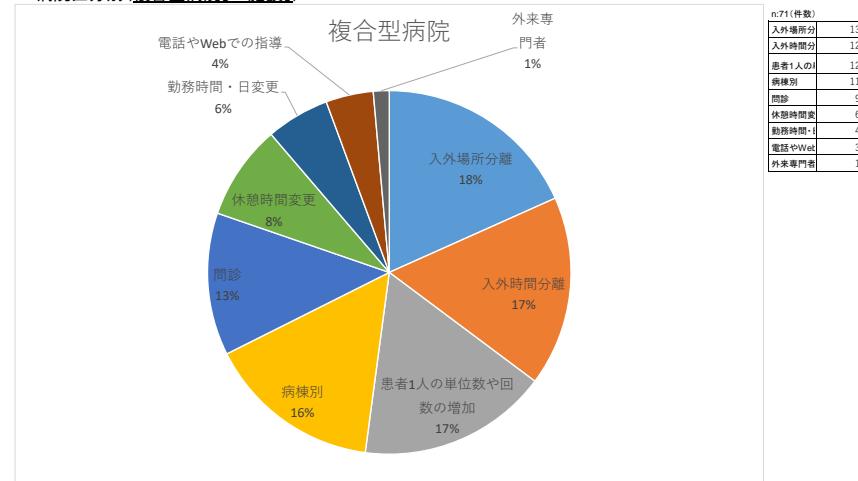
約3割の病院がスタッフを病棟別に配置

\* 病院区分別(一般小規模病院【12施設】)



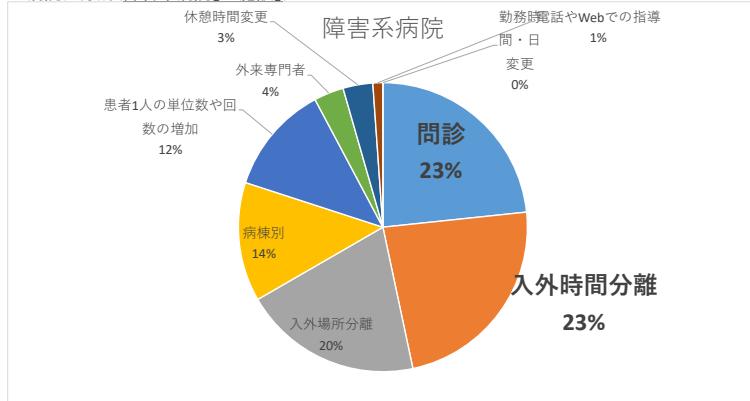
外来前の問診が多い

\* 病院区分別(複合型病院【30施設】)



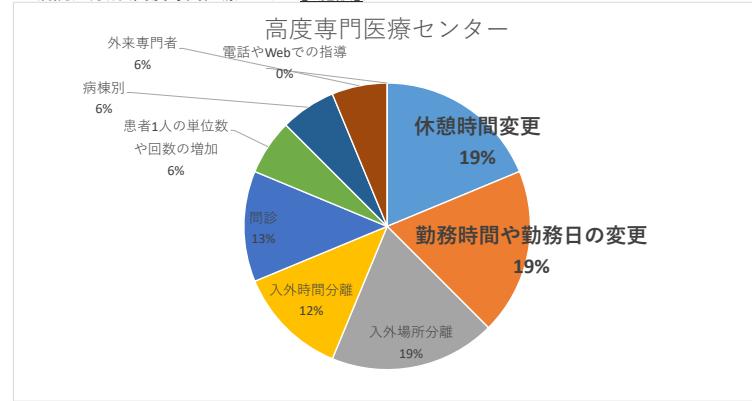
平均的な対応がされている

\* 病院区分別(障害系病院【45施設】)



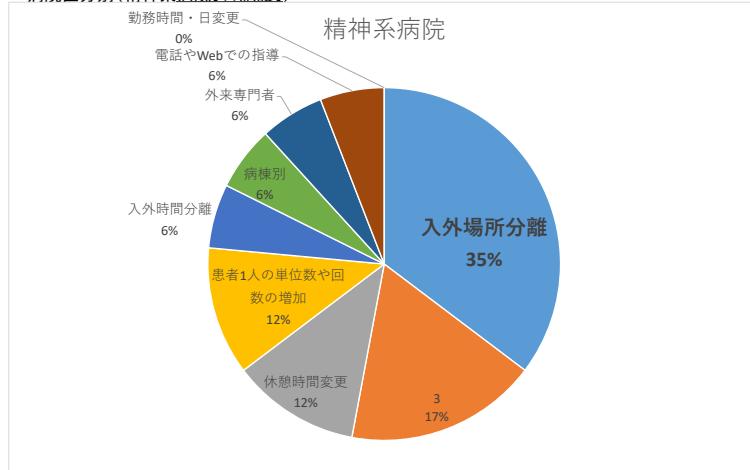
外来前の問診に加え  
入院外来の時間の分離が特徴的

\* 病院区分別(高度専門医療センター【8施設】)



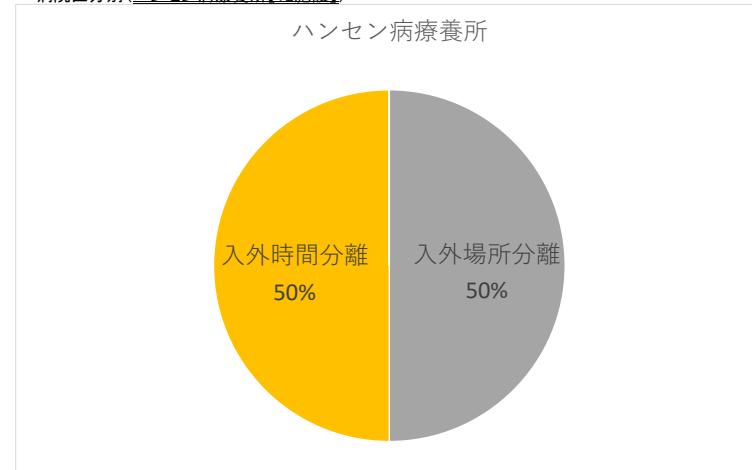
休憩時間変更と勤務時間や勤務日の変更が特徴的

\* 病院区分別(精神系病院【11施設】)

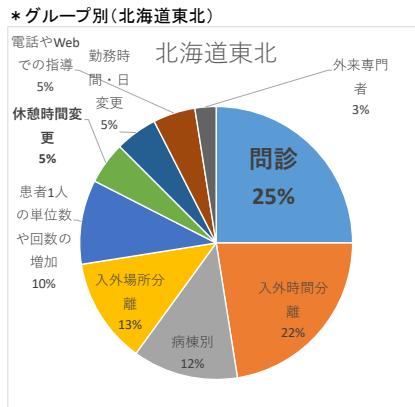


3割以上で入院と外来の場所を分離

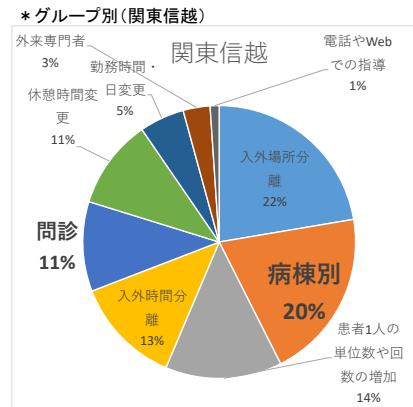
\* 病院区分別(ハンセン病療養所【12施設】)



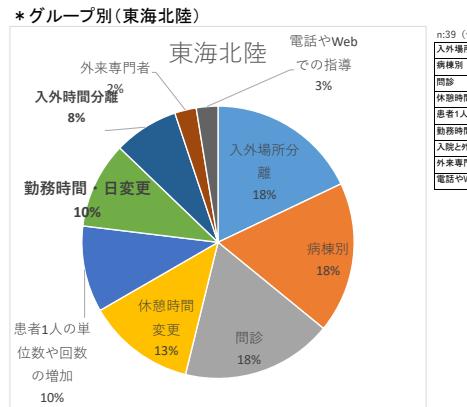
入院と外来の分離を実施(場所と時間)



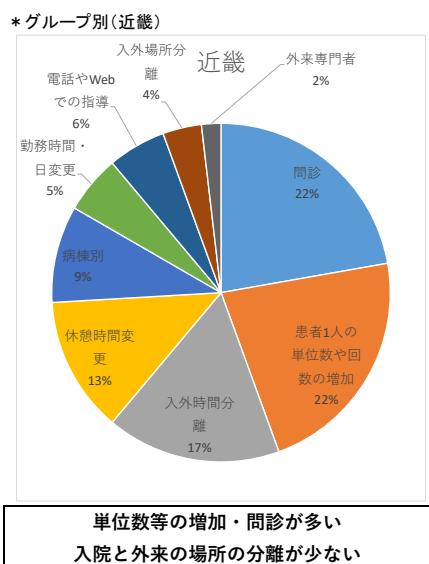
1/4の病院で問診を実施  
休憩時間変更が少ない



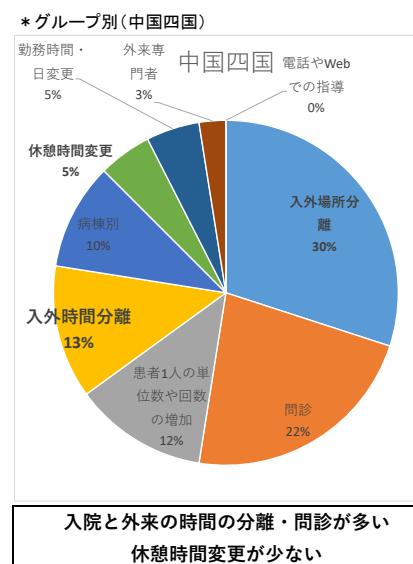
スタッフを病棟別にする傾向にある  
問診が少ない



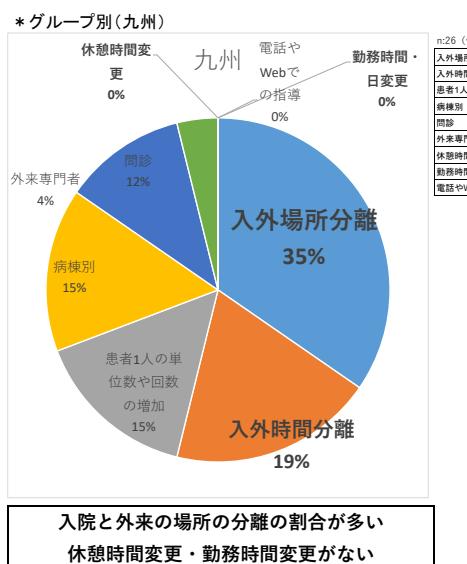
勤務時間や勤務日の変更が多い  
入院と外来の時間の分離が少ない



単位数等の増加・問診が多い  
入院と外来の場所の分離が少ない



入院と外来の時間の分離・問診が多い  
休憩時間変更が少ない



入院と外来の場所の分離の割合が多い  
休憩時間変更・勤務時間変更がない